



専門家コラム

西村医院 小児科医師 瀧上 佐智子さん



予防接種を受けましょう

新しい年度が始まりました。お手元には予防接種の接種券がどんどん届いていると思います。大切な子どもをワクチンで防げる病気(VPD)から守るためには接種する時期とタイミングが決まっています。皆さんに打っていただきたいものは公費と言って無料で接種できるようになっています。普通の感冒、風邪症候群はかかって免疫力を体内に蓄積していきます。VPDは症状が重症化するもの、感染力が強いもの、治す手段が無いものです。普通の感冒や風邪症候群とは全く違うものです。麻疹や風疹に罹って免疫をつける時代ではありません。色々なお考えをお持ちでしょうしSNSにはワクチン否定論も蔓延しています。

正しく情報を収集して大切なおこさんをVPDから守ってあげてください。

予防接種スケジュール

大切な子どもをVPD(ワクチンで防げる病気)から守るためには、接種できる時期になったらできるだけベストのタイミングで、忘れずに予防接種を受けることが重要です。このスケジュールはNPO法人 VPDを知って、子どもを守ろうの会によるもっとも早期に免疫をつけるための提案です。お子さまの予防接種に関しては、地域ごとの接種方法やVPDの流行状況に応じて、かかりつけ医と相談のうえスケジュールを立てましょう。

ワクチン名	接種済み ☑	0歳	1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	1歳	1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	(満年齢)
不活化ワクチン B型肝炎 (母子感染予防を除く) 定期	<input type="checkbox"/>			①	②																											
生ワクチン ロタウイルス (飲むワクチン) 定期	1価 <input type="checkbox"/> 5価 <input type="checkbox"/>			①	②																											
不活化ワクチン 小児用肺炎球菌 定期	<input type="checkbox"/>			①	②	③																										
不活化ワクチン 五種混合 (ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ・ヒブ) 定期	<input type="checkbox"/>			①	②	③																										
生ワクチン BCG 定期	<input type="checkbox"/>						①																									
生ワクチン MR (麻しん風しん混合) 定期	<input type="checkbox"/>														①																	
生ワクチン 水痘 (みずぼうそう) 定期	<input type="checkbox"/>														①																	
生ワクチン おたふくかぜ 任意	<input type="checkbox"/>														①																	
不活化ワクチン 日本脳炎 定期	<input type="checkbox"/>																															
mRNAワクチン 不活化ワクチン 新型コロナ 任意	<input type="checkbox"/>																															
不活化ワクチン 生ワクチン インフルエンザ 任意	毎秋																															
不活化ワクチン HPV (ヒトパピローマウイルス) 定期	<input type="checkbox"/>																															
不活化ワクチン 髄膜炎菌 任意	<input type="checkbox"/>																															
渡航ワクチン	<input type="checkbox"/>																															

生ワクチン **mRNAワクチン** **定期** 定められた期間内で受ける場合は原則として無料(公費負担)。
 任意 多くは有料(自己負担)。自治体によっては公費助成があります。任意接種ワクチンの必要性は定期接種ワクチンと変わりません。
 定期の予防接種の対象年齢
任意接種の接種できる年齢
おすすめ接種時期(数字は接種回数)

不活化ワクチン
異なる種類の注射の生ワクチン同士の接種間隔は最短で4週間です(4週間後の同じ曜日から接種可)。

同時接種: 同時に複数のワクチンを接種することができます。安全性は単独でワクチンを接種した場合と変わりません。
 国や日本小児科学会も乳幼児の接種部位として太もも(大腿前外側部)も推奨しています。詳しくはかかりつけ医にご相談ください。
詳しい情報は <https://www.know-vpd.jp/> **VPD **検索****

0歳の予防接種 ワクチンデビューは、生後2か月の誕生日 スケジュール

0歳の赤ちゃんをVPD(ワクチンで防げる病気)から守るためには、生後2か月になったらできるだけ早くワクチンを受けることが大切です。このスケジュールはNPO法人VPDを知って、子どもを守ろうの会によるもっとも早期に免疫をつけるための提案です。

ワクチン名	接種済み <input checked="" type="checkbox"/>	誕生	1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	1歳
B型肝炎 (母子感染予防を除く) 定期	<input type="checkbox"/>													
ロタウイルス 定期	1価 <input type="checkbox"/> 5価 <input type="checkbox"/>			①	②									
小児用肺炎球菌 定期	<input type="checkbox"/>			①	②	③								
五種混合 (ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ・ヒブ) 定期	<input type="checkbox"/>			①	②	③								
BCG 定期	<input type="checkbox"/>								①					
MR (麻しん風しん) 定期	<input type="checkbox"/>													
水痘 (みずぼうそう) 定期	<input type="checkbox"/>													
おたふくかぜ 任意	<input type="checkbox"/>													
日本脳炎 定期	<input type="checkbox"/>													
新型コロナ 任意														
インフルエンザ 任意	毎秋													

必要回数を接種するために生後2か月になったらすくなく同時接種で受けましょう。

1価ワクチンと5価ワクチンがあります。初回は遅くとも生後14週6日までに接種を開始し、それぞれの必要接種回数を受けます。

0歳のうちに3回接種が必要。3回目は2回目から4-5か月の間隔をあけます。

3回目を生後6か月までに受けるようにしましょう。

予防効果を長期にわたって維持するために1歳代の追加接種を忘れずに受けましょう。

1歳の誕生日が来たら同時接種で受けましょう。小児用肺炎球菌・五種混合・MR・水痘・おたふくかぜの5本を同時接種で受けることもできます。

生後6か月から定期接種として受けられます。

ワクチンの種類によって、接種スケジュールが異なります。事前に最新情報をご確認ください。

毎年10月から11月ごろに接種しましょう。

生ワクチン 注射・スタンプ式 定期 定められた期間内で受ける場合は原則として無料(公費負担)。 定期の予防接種の対象年齢 おすすめの接種時期(数字は接種回数)
 不活化ワクチン 経口 任意 多くは有料(自己負担)。自治体によっては公費助成があります。 任意接種の接種できる年齢
 mRNA ワクチン ●異なる種類の注射の生ワクチン同士の接種間隔は最短で4週間です(4週間後の同じ曜日から接種可)。

同時接種：同時に複数のワクチンを接種することができます。安全性は単独でワクチンを接種した場合と変わりません。
 国や日本小児科学会も乳幼児の接種部位として太もも(大腿前外側部)も推奨しています。詳しくはかかりつけ医にご相談ください。 詳しい情報は <https://www.know-vpd.jp/>